



ともに Tomoni

外国人の友に、外国人と共に
東日本大震災の被災者の友に、被災地と共に

CTIC ニュース No.70 / 2011.07



被災地で祈りを捧げる関東からのフィリピン人共同体
宮城県仙台市宮城野区

カトリック東京国際センター 外国人相談窓口

日本の生活に関する様々な相談を受け付けています。

相談は、無料で、秘密は厳守いたします。

面談相談希望の方は、電話予約をお願いいたします。

相談日時：
月曜日～金曜日 10:00～17:00

対応言語：
日本語、英語、タガログ語
ポルトガル語、スペイン語
イタリア語

Tel (03)
5759-1061

外国人被災者の友に、被災地と共に

今回の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。また、被害に遭われ、現在も厳しい生活を余儀なくされている皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

東日本には約 100 万人の外国人が登録されていました。災害救助法適用された被災地には 11 万人の外国人が生活していました。地震がない国で生まれた方にとって、3 月 11 日の地震、津波はどれほどの恐怖だったのでしょうか。本国で繰り返し流された津波の映像を見た、ご家族の心配はどれほどだったのでしょうか。

カトリック東京国際センターは、地震当日から、事務所に避難して来た外国人の受入を始めました。また、福島第一原子力発電所の事故が深刻化するにつれ、東京に避難してきた外国人のために一時避難所も多くの方の協力で開設することができました。現在は、岩手、宮城の外国人共同体と連帯する活動を行っています。これからも引き続き、外国人被災者の友となれる様に努めてまいります。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

所長 大原 猛

被災者の友に・被災地と共に

◆外国人被災者・避難者への一時避難シェルター提供

主に福島からのフィリピン人避難者の受入を行いました。吉祥寺教会、フランスカンチャペルセンターのご協力で、延べ452人を支援することができました。また、多くの教会、修道会から受入の連絡を頂きました。東京外国語大学のボランティアを始め、多くの方々のご支援を頂きました。改めて感謝申し上げます。一時帰国した方の多くは、現在、日本に戻って、日常の生活に戻っています。

◆被災地のフィリピン人共同体の支援

被災地には、11万人(中国人3.8万人、韓国朝鮮人1.7万人、フィリピン人1.4万人、ブラジル人1.3万人)の外国人が生活していました。マスコミ報道には外国人被災者の情報はほとんどありませんが、被災地のフィリピン人共同体から、「母国語であるタガログ語で祈りたい、母国の食べ物を食べたい」とリクエストがありました。関東のフィリピン人共同体、フィリピン人宣教師と一緒に被災地にでかけ、支援活動を行っています。まだ避難所での生活を余儀なくされている方も多くいます。関東のフィリピン人共同体と被災地の共同体との絆が深まっています。

(宮城) 4/14 仙台市、6/5 仙台市、6/19 丸森町

(岩手) 5/22 大船渡市、6/25 気仙沼市



福島からの避難者と共に
東京・六本木



仙台のフィリピン人共同体と共に
仙台・元寺小路教会



大船渡のフィリピン人共同体と共に
岩手・大船渡教会

地域共同体と共に 外国人健康相談会

五井教会(千葉県市原市)での外国人無料医療健康相談会は今年で12回目になりました。3月6日(日)に実施された相談会では、相談者は54名、その相談会を支えるボランティアは約70名にのぼりました。

この相談会は、ちば県民保健予防財団、シェア=国際保健協力市民の会、そして会場となっているカトリック五井教会の協力で実施されています。財団の協力によりレントゲン車両による検査、シェアの医師、看護師の皆さんによる健康相談、千葉大学、東京歯科大学の医療関連を目指す学生ボランティア、外国人支援団体スタッフ、教会信徒の皆さんの活躍によって成り立っています。同じミッションの下に集うそれぞれの団体のメンバーが共に協力し合って成果を出している一つの取り組みです。



外国人無料医療健康相談会のひとコマ

難民の友に 「難民カフェ」はじめました

今年は、難民条約が国連で採択されて60周年、日本が加盟して30周年にあたります。昨年の日本への難民申請者は1,202人。ここ数年、申請者が急増しており1,000人を超える申請数が続いています。一方、昨年認定されたのはわずか39人。手続きには、平均2年かかり、その間の公的支援は限定的なため、生活に困窮する申請者が多くいます。

また、複雑な難民認定手続きのため、申請方法が分からずに、超過滞在で入国管理局に収容されてから難民申請をする方も多くいます。全国で207人(2010年6月末)が迫害を待つ国への強制送還に怯えながらも収容され続けています。

CTICでは、難民申請者への面会支援活動、仮放免のための保証金、保証人の提供。食糧・衣類・日用品支援を行っています。最近、諸事情で住居を失い、友人宅を転々とするか、路上で生活する方が増えています。シェルター支援が急務の課題です。



難民の方々の情報交換、交流の場
「難民カフェ」(毎週木曜日開催)

シードイク カトリック東京国際センターCTICとは？

日本に滞在する外国人をサポートするために、東京大司教区創立 100 周年記念事業として、1990 年に設立されました。

■ 外国人の友に、外国人と共に

困難を抱える外国人を支援し、日本社会に適応し、お互いに成長できる関係作りをサポートします。

■ カトリック教会共同体と共に

カトリック教会が、外国人と共に生き、その役割や課題を分かち合い、同じ信仰を共有する共同体となるようサポートします。

■ 日本社会と共に

人種・宗教・国籍・政治的信条に関らず基本的人権が尊重され、多文化共生による豊かな日本社会の実現のために社会に働きかけます。

シードイク カトリック東京国際センターCTICの活動

■ 外国人の自立サポート

生活相談 / 労働相談 / 難民支援

■ 収容されている外国人のサポート

東京入国管理局（東京都港区）、東日本入国管理センター（茨城県牛久市）への面会訪問。仮放免支援。

■ 外国人の信仰サポート

信仰教育支援 / 教会・外国人共同体との連携
信仰教育教材開発

■ 外国人支援ネットワークへの参加、協力

日本カトリック難民移住移動者委員会
移住労働者と連帯する全国ネットワーク
NPO 法人なんみんフォーラム FRJ 他

東日本大震災への取組み

行政の支援が届きにくい外国人被災者を支援する
外国人共同体の被災地支援活動を支援する

(1) 外国人被災者の情報収集

被災地の外国人登録者 約 11 万人
中国人 3.8 万人、韓国朝鮮人 1.7 万人
フィリピン人 1.4 万人、ブラジル人 1.3 万人
死者数 33 名 行方不明 50 人

(2) 外国人被災者、避難者への 一時避難シェルターの提供（現在終了しています）

延べ利用者 452 人
外国人被災者受入施設 約 400 人
〔東京〕 7 教会、男子修道会 2 施設、女子修道会 9 施設
＊横浜、京都、大阪、高松、福岡各教区からも外国人被災者受入の申し出がありました。

(3) タガログ語ホットライン

Tel 0570-099963
dreamhotline@gmail.com
月曜日～土曜日、10:00～18:00

(4) 被災外国人への総合的な支援

NGO、外国人共同体、大使館と共同で被災地の精神的、物質的支援を行っています。
（宮城）4/14 仙台市、6/5 仙台市、6/19 丸森町
（岩手）5/22 大船渡市、6/25 気仙沼市

(5) 緊急物資支援

(6) 外国人ボランティアのマッチング

被災した外国人のための、
支援金を受け付けています。

（ご注意）

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付き A T M でもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
3万円以上
添付

印

■ 賛助会、外国人支援金・貸付金へご協力下さい！

CTIC の活動資金は「賛助会費」、「寄付金」、「カトリック東京大司教区からの運営費」からなっております。皆様のご支援をお願いいたします。ご支援いただきました方には、年次報告書をお送りいたします。

◎ 賛助会 個人会員《一口》 3,000 円（年間）

団体会員《一口》 5,000 円（年間）

◎ 一般献金・寄付金 ～いつでも、金額は自由です。

◎ 外国人支援金・貸付金基金

～公的支援を受けられず、困窮している外国人への支援金です。

この場所には、何も記載しないでください。

■東日本大震災とどう向き合うか 被災地から見た3.11

山浦玄嗣 講演会 (岩手県大船渡市在住、医師)

日時：2011年7月23日(土) 17:00～19:00 (16:30開場)

場所：上智大学10号館講堂

*入場無料、申込み不要

*当日会場にて大船渡復興のための募金にご協力をお願いします。

主催：上智学院 創立100周年記念3校共通部門(上智大学創立100周年記念事業)

共催：カトリック東京国際センター(CTIC) / カトリック東京ボランティアセンター(CTVC)

カトリック麹町教会 / 難民支援協会 問合せ先：上智大学カトリックセンター TEL: 03-3238-4161

*CTICは、大船渡市在住のフィリピン人共同体を支援しています。

*岩手県大船渡市の医師・山浦玄嗣さんは、聖書を地元の方言「ケセン語」に翻訳したことで知られている。自らも被災し、大津波に見舞われたガレキの街で、医師として人々を支え続けた。惨害の野に立った時、山浦さんの胸に去来したのは、絶望は絶望のままおわらないということ。そして「祈り」とは、目の前の出来事の中にあらわれる神の声を聞くことだ、ということだった。今、聖書を読みながら、災禍を引き受けて生きる希望を語る。(HNK教育「こころの時代」より)



山浦氏 カトリック大船渡教会

■難民支援へご協力をお願いします!

生活に困窮されている難民の方へ、食糧、衣類、日用品等の支援を行っています。2010年は2,537人に支援を行うことができました。下記の支援物資を募集しております。ご協力頂ける方は、事務所宛お送りください。

《食糧》米、米粉、パスタ、インスタントラーメン、缶詰など保存ができる食品
コーヒー、紅茶、砂糖

《衣類》男性用夏物(Lサイズ以上): Tシャツ、シャツ、Gパン、トレーナー、スウェット、下着(新品)、靴

*汚れ、シミがひどいもの、傷みが激しいものはご遠慮ください。

*支援者が男性中心のため、女性用衣類、子ども用衣類は、お断りしています。

*倉庫のスペースに限りがあるため、冬物衣類は9月～12月をお願いしています。

《日用品》タオル、シーツ、石鹸、シャンプー、洗濯用洗剤、歯ブラシ、歯磨き粉、旅行用カバン、スーツケース

*上記以外のものをお送り頂く場合は、事前に必ずCTIC(担当:奥山)までお問い合わせください。



支援の様子

■難民のためのシェルター(住居)を探しています!

難民の方へご提供できる部屋、家がありましたらご連絡ください。詳細をご説明に伺います。

02 東京		払込取扱票				通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号						金額	
00130-2-710756						千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名 カトリック東京国際センター						料 金	
* 通 () 賛助会費(個人会員) 1口 3,000円 () 口 信 () 賛助会費(団体会員) 1口 5,000円 () 口 欄 () 一般献金・寄付金 () 外国人支援金・貸付金 基金 () 東日本大震災支援金 _____ 円						備考	
ご依頼人 おところ(郵便番号) _____) ※ おなまえ _____ 様 (電話番号 _____)						日 附 印	
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第 _____ 号) これより下部には何も記入しないでください。							

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号						通常払込 料金加入 者負担	
00130-2-710756						千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名 カトリック東京国際センター						金額	
* おなまえ _____ 様 ご依頼人						日 附 印	
料 金						備考	

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでください。

この受領証は、大切に保管してください。

被災した外国人のための、
支援金を受け付けています。